

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもプラス姫路教室				公表日		2026年2月16日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		8	2	学習・遊び等の状況で、スペースを分け有効利用できるように配慮している。	子供達が、視覚的に分かりやすくし、常に整理整頓が出来る様に声をかけていく
2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		10	0	基準以上の人員配置をしている	職員の質の向上を行い、子供達への様々な配慮が出来る様にしていきます。			
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		10	0	現在の利用者にはワンフロアでバリアフリーとおなっている。特に現時点で問題はない	今後、どのような利用者様が来られても、対応できる動線や物の配置等に工夫を要する。			
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		10	0	清掃や道具 接触部の消毒を都度行っている。室内換気や温度 気温を気を付けている	大物の荷物の裏側等を定期的に清掃をする。			
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		10	0	クールダウンや個別活動用のスペースを開放している。また、個々の申し出等によりスペースを確保するようにしている	複数人が同時期にスペースの確保が必要な場合を想定したルールを考えていく			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		10	0	毎月の職員会議や、朝礼時や送迎前ミーティングで話合う機会を設けている	会議等に参加が出来ていない職員への申し送りの不備が無いように文書化して残す。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		8	2	定期的な面談や必要に応じ訪問面談を行うことで、保護者様の意向を確認し改善につなげている			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		10	0	毎月行う職員会議にて全員が発信できる環境を整え、改善点の掘り起こしや改善策を話合っている			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	5	第三者 FC本部 行政書士による評価を実施し、定期的に確認を行い業務改善を行っている	職員が理解し問題点を共有し。全員が改善策について考え行動で駆る様にしていく		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		8	2	毎月の職員会議で施設内研修を実施し、毎月定期的にFC本部が開催するZOOM等での研修や行政が行う研修に参加し業務改善を行う	研修を理解し、行動を起こし 結果を追求し検証を行い業務改善をより良いものにする。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		10	0	職員に視覚的に見える化し、子供たちが楽しめる内容に出来る様に話し合っている。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		10	0	必ず、お会いして話し合いを行い、ニーズの把握や意向を理解したうえで作成を行っている。出来るだけ、話しやすい雰囲気と良いところを踏まえて話すようにしている。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		10	0	職員会議内で利用者様や保護者様の意向やニーズを把握した会議を実施して実行に移している			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		10	0	職員会議で話し合いを行う事と、朝礼時に確認を行って支援を開始を行っている			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		8	2	出来るだけ、職員個々の視点や意見も重視し、全員の意見が反映されるようにしている	思いついた内容や視点は、文章に残せるようにしていく		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		8	2	面談時等でガイドラインの読み合わせを行っている。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		10	0	意見を出して話し合っている			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		10	0	新しい内容をFC本部の研修等でヒントをもらい、朝礼時に実際に職員が行って危険性や注意点やポイントを話し合っている。			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	2	個別支援と集団支援で行える支援を明確にし支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	支援開始前の打合せで役割分担の確認と、行う支援の模擬訓練を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	3	送迎後の夕礼にて行っている	勤務時間によって参加が難しいものや公休の者もわかる様に記録を残して報告するようにしていく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	2	記録を残してその日の様子を職員会議や朝礼夕礼時に話し合いを行っている	勤務時間によって参加が難しいものや公休の者もわかる様に記録を残して報告するように共有する
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	必ず対面でモニタリングを行い、見直しを行っている。モニタリング後は職員で共有し話し合っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	10	0	職員に解るように説明を行っている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	2	自己決定できる環境を整え、支援計画に盛り込み、保護者等と職員が共有し支援を行っている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	3	児発管が参加している。参加前には、職員との打合せを行い全体の考えをまとめて参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	1	必要に応じて、連携を取り支援を行っている。	支援の連携内容等を視覚的に理解できるように文書化する等を行っている
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	0	学校の先生との連携を行い、必要事項を当方から発信させていただいたり、様子を聞いたりして支援に生かしている。	連絡調整は無論、学校との関係性を構築し、各場所での様子等を、職員が同レベルで行っていけるようにしていく
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	2	保護者を通じて行っているため、保護者の考えや思いを知る事が出来ている。	保護者様にはできていないが、必要に応じて多職種連携を図っていく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	4	卒業後の様子を、保護者様や相談支援事業所等に確認を行っている。	これまで、卒業生は1事例しかなかったため、保護者様や相談支援事業所としかできていないが、就労支援等との多職種連携を図る
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	3	FC本部や行政書士からはアドバイスを受けているが、児童発達支援センターからの助言や研修は受ける事が出来ていない	今後はお願いをして助言や研修を受ける様にする。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	3	公園遊びや各施設に出かけて、地域や他児との交流を図るようにしています。また職員が送迎時に様子を伺う等は出来ている	今後は、児童館や放課後児童クラブとの連携を図っていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	5	協議会について話し合いの内容を調べる事を行っている	今後はもっと密に機会を設けていきたい
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	送迎時に報連相を行い、連絡ノートを活用している	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	3	会社として保護者会や支援プログラムを実施している。	保護者様に周知が上手くいっていないこともあるので、口頭と書面を用いて主知を行う
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0	契約時に説明の実施を行っている	変更や追加があった場合は都度報告を行う
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	様々な面談の機会を作り、保護者様の意向や思いをしっかりと聴き取りを行っている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	0	保護者様と確認を行いながら、調整をし同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	送迎時や電話・SNSや連絡帳を活用して、場合によっては来所して頂いたり、訪問を行って助言等の支援を行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	3	会社として保護者会等や交流会を行っている	保護者様に周知が上手くいっていないこともあるので、口頭と書面を用いて主知を行う
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	体制の構築はできており、直ぐに状況把握を行い、責任者が遅延なく対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10	0	会報をお渡ししている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	個人情報、鍵付き書庫に常に補充し、パソコン等もロックを行い、鍵付き書庫に補充するようにしている	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	イラスト等で視覚による伝達を行い理解できるように配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	4	地域のお祭り等に参加している	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0	避難訓練や防災ブラザを利用し災害に対するの準備を行っている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	職員間で避難訓練や図上訓練を行い、都度問題点や修正点を見つけて訓練に生かしています	FC研修等で専門家の研修を受けているが、防災ブラザで消防職員等に専門的な訓練実施をお願いし参加したい
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10	0	利用日に対象者がいないか確認し、対応について話し合いを行ってエラーの内容にしている	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	2	保護者様からの聞き取りを重視して把握に努め、朝礼時に飲食物のこと等を話合っ、エビベン等の確認を行っている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0	FC研修や行政主催の研修に参加し、情報を職員で共有している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0	送迎時や外の活動等の連携は、保護者等に報告し都度行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	職員にヒヤリハットの研修を行い、その際にヒヤリハットの報告書の記入方法と、報連相を行うことを実施している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	外部研修を受講したものが、職員に内容を伝えたり、定期的な研修とFC本部の研修動画を都度確認できる体制を整えている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	0	自宅訪問や事業所で保護者に理解を頂ける様に説明を行っている。		